

# 文理の垣根を越えて 社会の諸問題を解決に導く学術拠点 近畿大学「アカデミックシアター」

## 目的・趣旨 |

アカデミックシアターは、近畿大学の建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」を礎に、人間のあらゆる知的好奇心を揺り動かす“知の実験劇場”として平成 29 年 4 月にオープンしました。

アカデミックシアターのコンセプトは「文理の垣根を越えて、社会の諸問題を解決に導くための学術拠点」「従来の大学図書館にない、新しい考えをもった図書館の創出」です。

1 号館は事務部と国際関係のエリア、2 号館は 1 階が実学ホール、2 階がキャリアセンターが中心に活動するオープン・キャリアフィールド、3 号館は 24 時間自習室と講義室、4 号館はカフェとラウンジ、そして 5 号館（ビブリオシアター）は約 7 万冊の図書と ACT という学びの空間、という 5 つの建物が融合しています。中央にあるビブリオシアターを中心に総合大学としての強みを活かし、多様な学部の学生たちが交わることによる気づきを可能にする学習空間を目指しています。



NOAH33

## 実施内容 |

### ① ビブリオシアター（5号館）

従来、学術情報拠点としての役割を担っている中央図書館・分室に加え設置された、アカデミックシアターの図書館部分です。以下の 2 つの部分で構成されています。

#### NOAH33（ノア 33）

1 階の NOAH33 は、近大独自の「近大 INDEX」（編集工学研究所所長・松岡正剛氏監修）によって構成される約 3 万冊の図書空間です。「近大 INDEX」は日本十進分類法を下敷きにしつつ、新たな実学的・文理融合的なリベラルアーツ感覚によってタイトリングや選書がなされており、若者の読書離れが進む中、新たな切り口で本と出会う場を目指しています。

#### DONDEN（ドンデン）

2 階の DONDEN は、マンガを中心に新書・文庫によって構成された約 4 万冊の本を 32 のカテゴリに従って区分し配架しています。マンガをきっかけに学生の知的好奇心を刺激し、関連する文庫・新書から専門書へと関心を深めることで、知の繋がりを感じ、知の奥へ向かうための「知のどんでん返し」が起こることを狙いとしています。



DONDEN

## ACT (アクト) (5号館)

ビブリオシアター内にある42室のガラス張りの空間は、学びの可視化を意識しています。社会の諸問題を解決に導くために、学生や企業、地域が交わり、様々なプロジェクトに取り組み、文理の垣根を越えた学生主体の議論、企業とのコラボレーションといった近畿大学ならではの実学を体現する空間を目指しています。



## ② インターナショナルスタディーズエリア (1号館)

語学学習のための「多読本」や TOEFL、TOEIC などの語学試験対策資料を約 14,000 冊、映画などの DVD を約 2,000 点配架しています。また、留学生と日本人学生が交流しながら文化や語学を学び合うラウンジも設置しています。

## ③ 実学ホール (2号館)

可動式の椅子や舞台を設置し3面ガラスに囲まれた350名を収容できる情報発信型のオープンホールです。学生の研究発表、ワークショップなどの文理融合・企業連携イベントを実施し、近大ならではの「実学教育」を発信しています。

## ④ オープン・キャリアフィールド (2号館)

キャリアセンター、リエゾンセンター、総務部 校友課、社会連携推進センターをワンフロアに集約することで、在学生、卒業生、地域や企業など、様々なステークホルダーの活動をサポートする機能を持っています。利用者が相互に連携し、新たな関係性を構築する機会にもなり、

幅広い支援と新たな価値創造を可能にしています。

## ⑤ 24時間自習室 (3号館)

1階・2階で約250人収容可能となっています。専用アプリをダウンロードすれば映画館のように希望の座席予約ができ、学生がいつでも利用できる自習環境を提供しています。

## ⑥ CNNカフェ (4号館)

国内大学で初出店となるアメリカニュース専門局 CNN と提携したカフェです。店内の4つのモニターでは常時 CNN のニュースが流れ、日本にいながら常に世界のニュースをリアルタイムに学べる学習型カフェ空間を演出しています。



CNN カフェ



実学ホール

## 実施成果 |

開館以来、多くの学生の居場所となっています。アカデミックシアターは4月オープン後の8カ月で入館者100万人に達し、その利用も常態化しつつあります。

また、近大 INDEX の導入以降、図書の貸出も増加しています。平成28年度の貸出実績と比較すると、昨年比約2倍の貸出冊数となっています。当初の想定通り、マンガの貸出が多いものの、マンガの貸出を除いた増加率でも、昨年比約1.2倍に増加していることから、学生が本に触れる機会や興味を持つきっかけを創出できていると考えられます。

現在では、従来の中央図書館・分室には静かな学習環境を求める学生、アカデミックシアターには活発なグループワークを目的とする学生、といった棲み分けがなされています。

さらに、ACTや実学ホールでは、企業・地域・大学と連携した30件を超えるプロジェクトが進行し、多くの学生が参加しています。学部を越えた学生が集まることで新たな交流、気づき・刺激が生まれています。学生が自由利用できるACTでは学部学生のプレゼンテーション練習、授業やゼミでの発表準備、教育実習の事前演習など多様な利用が見られます。

## 今後の展開・課題 |

アカデミックシアター開設以来、ACTや実学ホールでプロジェクト型学習や文理の垣根を取り払った学部横断型の教育を進めています。

今後も現在の利活用の定着を図りつつ、利用状況と学生の声を把握しながら図書の活用、ICTの整備を含む利用環境の更なる充実に努めたいと考えます。

そして、アカデミックシアターという近畿大学初の本格的な学部横断・文理融合型の教育環境における実践を通じて、「地域社会から関西、日本そして世界につながる、新しい価値を創造する人材」の育成を目指します。

## 参考文献・URL |

- ・近畿大学アカデミックシアター

<https://act.kindai.ac.jp/>

- ・近畿大学中央図書館

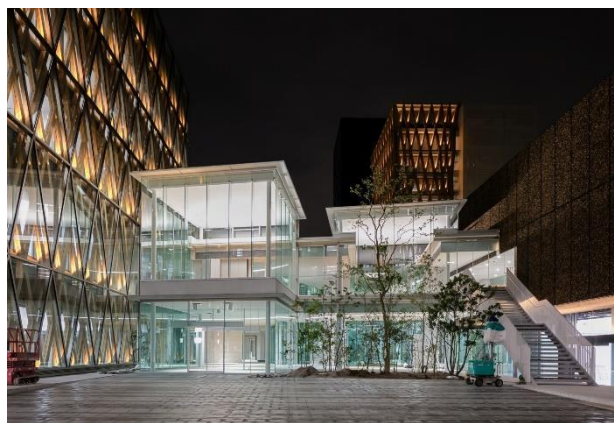
<http://www.clib.kindai.ac.jp/>

## 連絡先 |

近畿大学中央図書館事務部 図書総務課

〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1

TEL: 06-4307-3086



アカデミックシアターの外観